

牧島保育園の運営に係る三者協議会会議録

開催日時 令和5年9月19日（火）18:30～19:35

開催場所 牧島保育園遊戯室

出席者 牧島保育園保護者（保護者会）代表 他2名

社会福祉法人明志会 理事長 他2名

市子育て支援課 山口課長、佐々木室長、池田

牧島保育園 野村主任

会議内容

1 開会

2 あいさつ

山口子育て支援課長があいさつ

3 自己紹介

4 協議事項（議長：山口子育て支援課長兼本協議会会長）

（1）三者協議会副会長の選出について

保護者（保護者会）から代表の坂口氏に決定

（2）牧島保育園の民営化後の運営に係る気付き等について

佐々木室長が説明

（質疑）

議 長） 牧島保育園が民営化し早くも1年5か月が経過した。昨年度の三者協議会で保護者から出た意見では、一生懸命してもらい本当に助かっているという意見をもらった。皆様からの気付きをもらいたいと思うが、まず園から今年取り組んでいることを話した方が意見を出しやすいので、何かあればお願いしたい。

園 長） 2年目の運営となるが、年度末にアンケートを実施し運営状況などについて保護者から意見を聞かせてもらっている。園長を含む職員の待遇、保護者への対応がしっかりできているか意見をもらいながら、今年度そのことを振り返り、新たな1年がスタートしている。また、園の見える化については、クラス担任から毎日とはいかないが、コドモンのアプリを通じた園での日々の活動の様子を情報発信することに努める中で、園での子どもの様子を見てもらい、仕事に勤しんでもらったり、夕食時に家庭の団らんの中での話題として提供できていると思うので、そのようなところを聞かせてもらいたい。もう1つ、昨今、心が痛むような不適切保育やバスの置き去りなどの問題が今なお続いていることに心を痛めながら、決して対岸の火事ではなく他山の石であると心に刻み、月に1回の職員会議の中で、きちんと子どもと向き合うこと、保護者とも切実に向き合うことを心がけている。そのようなところを気掛けながら、今日、こ

の後の協議の1つになるが、新園舎設計に着手する中で皆さんにある程度のことを紹介できる段階に移ってきた。そこは3番目の協議事項で具体的に触れたい。引き続き、民営化後の運営に係る保護者の意見をもらいたいのので、よろしくお願ひしたい。

保護者) 縁があり、今年の2月から子どもを牧島保育園に預けるようになった。保育園でやり方や内容が違うところもあるが、子ども自身も牧島保育園に来て、野菜や生き物などすごく大切にすゝる気持ちを持てるようになった。牧島保育園に来て、色々な野菜を作りそれを食べたり、コドモンに写真が載ることは子ども自身も分かっているのて、今日野菜を採ったから写真見てと言てきて、家庭で写真を見ながら、よく撮れているとか、こんな大きな野菜が育つんだねと言て、子どもと話すきっかけにもなっていて、その面はすごく良かったと思う。実際に食べられなかったものが食べられるようになったし、好き嫌いもあり以前はためらっていた野菜も、今では皆と同じくらい食べられるようになったと先生から聞くので、やはり転園して良かったと私たち自身もすごく感じている。

保護者) 民営化になったタイミングで子どもを保育園に預けているので、民営化以前と比べることはできないが、コドモンに関してはうちの子たちも写っているか見たいと言ったり、今日、どんなことをしたかと聞くと色々教えてくれ、アプリで子どもの様子が分かると話も広がるし、園でしていることも分かるので良い。年中になり、野菜を作ったり、近所からもらった野菜の皮むきをしたのを聞いて、こんなこともできるのだと思ったり、野菜にすごく興味をもってくれた。うちも偏食だったが、保育園では結構食べているみたいなので良かった。月1回のリトミックや体育教室はなかなか体験できないことをしているのてすごく良いと思う。虫なども詳しくなり、保育園に入る前はアリでも怖がっていたのが、色々な虫に触れ合い詳しくなり、花で色水を作るのが好きだったり、自然で楽しめているのがすごく良いと思う。

保護者) 私は上の子からもう9年、10年ぐらいで、今3人目が世話になっているが、民営化前と民営化になってから行事も大きく変わらずそれはこちらも戸惑わないで良いと思う。今までのやり方がどうこうというのはないので、今までどおりで良い。

園長) 改めて保護者の意見を聞き、また明日からの励みになる。率直な意見がある中で、ガラリと変えてしまうのはどうかということもあった。大切な、大事にしているものは踏襲しつつ、しかし、法人としての色合いを何かしらそこにプラスアルファで加えなければという感覚である。それと1つ言い忘れたが、今年、足裏で子どもの発育、成育を見る足裏診断の一般社団法人チャイルドヘルスケア協会の代表理事である柴田先生と縁があり7月に子育て講演会を実施した。子どもたちは保育園で何をするかというて、腹いっぱい遊ぶ、体を動かす、そうすると自然にお昼ごろお腹がすき、お腹が満たされれば午睡で昼寝を

する中で、身長や体重も大きく育つということを取り入れさせてもらった。身長、体重、足のサイズ、それらと運動機能がどのように推移していくかを単発ではなく、定期的に成長の過程を見ながら、そのまま小中学校に接続的に、幼保小連携でつながればとの思いがある。そのような中で子ども達の健やかな育ちを口で言うばかりではなく、実践できる方との出会いを通じ、より良い保育園の質を提供し、安心して預けてもらいたい思いで取り組んでいる。今年度導入したが、これから定期的に行っていきたい。身長や体重は毎月測定しているので、発育過程、保育園でどのような取り組みをしているかを週末や夕食時に家庭でもらえればというところを、よりクラス担任と保護者のコミュニケーションとして取れればと思う。

議 長) 他に皆さんから何かあるか。思いつかなくても何かあれば、今日の最後や後日にでも園に言ってもらいたい。

(3) 牧島保育園の新施設の協議状況について

参考資料(三者協議会后回収)により佐々木室長が説明
(質疑)

議 長) 昨年度の三者協議会の中で、保護者から様々な意見をもらった。特に、大きな道路を多くの車が通ることの心配もあったがそこを解決したり、夏のすごい暑さで、南向きの園庭が本当に良いのかということを考えられ、そこを市と明志会、設計事務所と何回も話しながら進めてきた。また、昨年度は三者協議会で大坪保育園を見学に行き、実際に見てこれがあればいいと言われた分については、できるだけ反映するような気持ちで今日示すことができると思う。まずは明志会から新しい園舎について話をもらいたい。

園 長) 福岡市にある設計事務所と正式に業務提携することで契約を締結した。その中で2つコンセプトを伝えている。民営化になる前にも、前の道路が冠水し牧島コミュニティセンターに避難したと聞く中では、やはり防災に強い施設を造りたい。あとは子ども達がいつどこに危険が潜むか分からない中で、安全安心の確保、防災と防犯のコンセプトで設計事務所をお願いした。

また、皆さんの前に模型があるが、道路高まで上がったところに園舎が建つイメージになる。上げたところは手元の資料にある子育て支援カフェ、地域開放ひろば、遊戯室、ここを概ね100㎡確保する中で、5歳児、4歳児、3歳児の部屋がある。通路を使い階段状に上がる形で、職員室や事務室、調理室などが一番低く、これはいつも皆さんが出入りしている門扉の高さとイメージしてほしい。

この園舎の特徴は、真ん中ほどに3、4、5歳児のランチルームがあり、給食はここで食べることで考えている。今まではコロナ禍の中で黙食であったが、おいしい給食を食べながら互いにコミュニケーションできるように、もう1つ

は、保育室で食事する現在の状況では、出したり片づけたりが伴うことになるが、ランチルームだと食事後また保育室に戻り午後からの保育にスムーズに移行できるメリットがある。

また、もう1つの特徴はランチルームと同様にデッキを広くとっていることである。真ん中のデッキは、夏に簡易プールなどを設置して水遊びができればと考えている。今の施設には、しっかりとしたプールがあるが、そこが新施設では事務所になるので、解体する予定である。猛暑の中で日差しを直接浴びる時の体力の消耗、そのような中では水温も30度を超えお湯のような状態になり、水温35度で外気温が猛暑の35度の合計70度となる一つの危険指数があるので、そのような時に外での水遊びは控えた方がいい。この夏も35度を超える猛暑日が続き、直射日光を浴びながらは心配だったので、簡易テントを張ることで陰を作り遊ばせる状況だった。今度の新園舎では、デッキで屋根がある、風通しも良いスペースで水遊びを行うことにしたい。

今皆さんが集っているぞうの部屋と遊戯室でお遊戯会などを実施しているが、そこが平面図の一番右側になり、隣に3台ほど駐車スペースを設けている。ここは年1回お遊戯会ができればと考えているが、1番の目的は、地域開放ひろばとして、保育園に預けてない親子がたまに息抜きや遊びに集える場所の提供や利用を考えている。

今回園庭にも自然をふんだんにあしらい、より自然に近い中でも少し手を加えたような様々な植物を植樹し、そのような中に子どもたちが裸足保育とまではいかないが、裸足で外を駆け巡るような、それがフラットではなくアップダウンがあるところで、足首や足裏の土踏まずの形成などができるように、あえて勾配を作ることで、自然に色々な角度に足が接地できるようにしている。

また、この廊下からフェンスまでの間を駐車場として9台止められるよう確保したい。9台と限りはあるが、皆さんの登園は時間差があれば十分対応できると考えている。

既存の保育室の面積が少ないので、それぞれの保育室にある程度の面積が確保できるようにしたいと考えている。なお、今保育所の定員が50人で、51人入所しているが、新しい園舎は60人の定員と考えている。60人の定員に対する0歳児から5歳児までのそれぞれの年齢区分6部屋を大体10名と想定する中で、少し余裕がある保育室の面積を確保している。現在の0・1、2・3、4・5で保育室が3つしかなく、それぞれ合同での保育をしているが、今度建て替えるにあたりそれぞれの年齢児での保育室を確保できる。新園舎の協議においては、楠久保育園の園長も参加し意見を言っている。

法 人) 先ほど簡易プールと説明したが、ビニールプールではなく、大坪保育園に新しく設置しているような組み立て式のプールで、広さも十分あるので安心してほしい。ランチルームについては、子どもの1日の流れで、遊びを通した成長

をするために、細切れの活動ではなく続きのある流れのある活動をしていきたいので、是非入れたいという思いがある。木の方も先程足の話をしたが、子ども達の足に優しい材質の床材にすることも相談し、牧島保育園の目標「豊かなこころと丈夫なからだ」を体現できる園舎を目指しているので楽しみにしてほしい。

議 長) 前の模型を見ながらでも何か質問があればお願いしたい。

法 人) 園庭はこれからの保育園は運動場ではなく、子ども達の成長を促すような園庭を造っていききたいので、季節の木々を植えたり、その木の落ち葉や草を使い遊んだりできる園庭にしたいと思う。0、1、2歳児はランチルームをなぜ使わないかという、落ち着いてまずは食べる場所から年齢に合わせた成長があるので、0、1、2歳児は保育室で食事してもらうようにしている。ランチルームは食事をするだけではなく、冬の寒い時にはここで遊ぶこともできるし、色々な面で活用していきたい。

園 長) 昨年度、大坪保育園を視察し、床暖房は良いという保護者の意見があったので、新園舎にも床暖房を設置したいと考えている。

法 人) 多目的ホールと地域開放ひろばの間に点線が入っているが、区切ることもできるし、広く使うこともできる作りになっている。

事務局) 全体的なスケジュールとしては、今年度基本設計を行い、来年度、実施設計をした後で、2年後の令和7年度に本格的な工事をして、令和8年度から新しい園舎に移ることになる。

園 長) ギリギリまで既存園舎で保育をし、新園舎の完成予定が令和8年1月か2月になる予定なので、令和7年度中まではここで保育を行い、令和8年度4月から新園舎でのスタートを考えている。

保護者) その時には運動会はどうするのか。

園 長) 小学校のグラウンドか体育館、または牧島コミュニティセンターを借りることで考えている。

法 人) 体育館かグラウンドを借りるのはこれから詰めていく。

園 長) 来年はまだ園庭が使用できるが、令和7年になると本格的な工事に着手するので、時期をずらすにしても手狭で、令和7年度の運動会は雨天時牧島小学校の体育館、晴天時グラウンドと考えている。

議 長) 大坪保育園は園庭が狭いので、施設裏のグラウンドを使用し運動会を行っている。

法 人) 牧島小学校が隣なので、小学校を借りるのが現実的だと思う。

議 長) 民営化したいより保育園も、敬徳高校の体育館を借りて運動会を行っている。昨年の運動会は雨が降ったこともあるし、臨機応変に対応しているようである。

法 人) 乳児のことや日差しが強すぎたりすることがあり、体育館で行う園も増えているので、話し合っていきたいと思う。

- 議 長) 新たな施設では、玄関のすぐ横に相談室があり、保護者が立ち話では難しいような話はここでできるようになる。
- 法 人) 設計事務所は多くの保育施設を設計し、こちらの希望を伝えれば様々なアイデアを出してくれるので、信頼して設計を任せている。
- 園 長) 今日事前に打ち合わせをする中で、模型や資料を用意してもらっているが、今なお、子どもたちが集中できるような空間としてこうしてはどうかと提案を受けているので、私達もより良いものがあれば、組み入れていきたい。
- 保護者) 今の畑のスペースはなくなるのか。
- 法 人) 別の区画に畑を作ることも考えないといけない。
- 園 長) ご指摘のとおり、今も夏野菜を7種類程度植えている中で、こどもが食べるだけじゃなく、育て、収穫し、食材として料理になることに興味関心を持ち、かつ嫌いだったものが食べられるようになったと非常にありがたい意見で、その可能性が費えるのは寂しいことになるので、その意見は新たに組み入れたいと思う。
- 議 長) その他に質問などないか。
- 園 長) 率直に言って、自然に富み蜂など色々な虫がいる中で、先日は毛虫もいた。家庭でも外遊びをする園庭もそうだが、自然だからこそ触れてはいけない注意を要するものもあるので、色々な知識として、子どもたちが取り入れてほしいことがある。コドモンにも入れているので、皆さんも既に承知だと思うが、今日、保護者からヘビを見たとの通報があり、危険なので注意喚起でお迎え時は気を付けほしいと入れた。去年は、黄色スズメバチがいて、偶然巣を見つけ、業者に駆除をお願いできたということもあった。春先や秋口は毛虫が多く、木の実と毛虫を勘違いして誤って触ろうとする子もいるので、それは毛虫だと声をかけることもある。
- 法 人) 毛虫も卵だと薬が効かないので、発生した時はすぐ業者に駆除してもらっている。
- 主 任) 桜の木が多く植えてあるので綺麗であるが、この時期になると毛虫がでてしまう。本当に自然豊かなので、子どもたちが虫探しに没頭したり、何にでも興味を持ち観察している。新しい園舎では各クラスの園児がそれぞれ自分たちの年齢で遊べるが、ここは複式でホールにも遊戯室にもならなければならない。集まる場所は必ずここで、せっかく遊びこんでいても、横や隅に片づけなさいと言わなければならない。継続的な途切れのない保育をしたいジレンマがある時に、ランチルームまである新園舎のようになるのは本当に良いと思う。
- 議 長) 園長先生からあったように設計事務所と話をしながらより良い施設となるよう進めていきたいと思う。

(4) その他

園 長) 新園舎のことではなく、今の既存園舎について説明したい。普段間仕切りをして保育をする時に、猛暑で暑かったのでリースではあるがエアコンを新たに設置した。将来的に解体するので2年間のリースとしている。また、砂場の砂が少なくなり、凹んだようになっていたので、新たに砂を入れた。水はけが悪いところは新たな園舎を整備する中で水はけが良くなるよう改良したい。もう1つ、来年度に向けて、保育室の増設を考えている。牧島保育園の現状で言うと3部屋の保育室の中で、一人当たりの面積の基準があり特に乳児は10人で一杯になる。新たな入園者が出た時には、保護者の了解をもらい月齢の早い子を隣の部屋にスライドしているが、そこを抜本的に解消できないかということで、プレハブの園舎をここに建てられないか協議し、新年度の4月にはスタートできるよう年明けごろから取り掛かりたいと思っている。2年間であるが年長児の部屋を設置したい。そうすると、1歳ずつスライドすることになるが、現在の部屋を4歳児・3歳児の部屋とし、2歳児・1歳児の部屋を真ん中のきりんの部屋、うさぎの部屋を0歳児と考えている。0歳児のうさぎの部屋の調乳室にカーテンがなかったので、カーテンも先週設置した。面積が狭いので、改良すべき点として新たにプレハブ保育室を2年間に限り設置することで検討を進めているが、そのことについても意見をもらいたい。

保護者) 雲梯を撤去するのか。

園 長) 雲梯は撤去せず、この部屋に接続することで考えている。

保護者) 小さいものなのか。

園 長) 面積は27㎡程度になり、5歳児の1人あたりの基準面積でいうと、12人程が入る保育室を想定し、今現在の4歳児10人が来年初年度に入ることになり、ちょうどこの部屋に接続することで設置したいと考えている。

保護者) この部屋の前ということか。

園 長) この部屋の真正面である。

保護者) そこに一番上の学年だけがいくのか。

園 長) 5歳児がそこにいくことで、年長児の子ども達が様々な創作をしたり、遊んだりできるようプレハブではあるが、当然、電気の配線やエアコンなどは設置する。昨年も今年も保育園の入園希望の見学があるが、入園手続きを踏む時に断ることがあった。今年度は今現在51人だが、新たな入所希望に向けた見学者が来週来る予定なので、新たな園舎が建ってからよりも、今もここでそうできないか考えていた。もう少し具体的になってから、平面図に落とし込んだ資料などを準備し、見てもらいたいと思う。

5 次回開催日について

必要に応じて実施する

6 閉会